

⑨日本国特許庁(JP)
⑩公開特許公報(A)

⑪特許出願公開
昭54-113143

⑫Int. Cl.³
B 62 L 3/02

識別記号 ⑬日本分類
81 E 01

庁内整理番号 ⑭公開 昭和54年(1979)9月4日
6927-3D

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑮ワンハンドブレーキ

⑯発明者 岸他人蔵
坂戸市鶴舞2-25-2

⑰特 願 昭53-20122
⑱出 願 昭53(1978)2月23日

⑲出 願 人 岸他人蔵
坂戸市鶴舞2-25-2

明 願 書

1. 発明の名称 ワンハンドブレーキ

2. 特許請求の範囲

ハンドルに付けた左右のハンドブレーキレバーの一方のハンドブレーキレバーの動作によって動作力が前輪ブレーキ、後輪ブレーキに二方に伝達し、前輪、後輪にブレーキを行なうワンハンドブレーキ。

3. 発明の詳細な説明

従来、自転車、オートバイ、子供用三輪車のハンドルの左右に付いているブレーキレバーは、前輪用、後輪用に別れているため、走行中に於いて急停止、停止、徐行を行なう場合は左、右のブレーキレバーの操作が微妙である。左右ブレーキレバーの操作が一方が早い時、あるいは早い時は片方のブレーキになり、スリップあるいは転倒をし危険である。この危険を解消する為、本発明を提案する

ものである。

本発明の構成は上部に2箇所、下部に2箇所ワイヤー装入穴のあるアジャスター5の上部穴にブレーキワイヤー4、16の突いたたわみ管1、13を装入し、調整ナット2、14、止めナット3、15で固定し、ブレーキワイヤー4、16の先端に止め穴のある止め部6、17を固定する。アジャスター5の下部穴へブレーキワイヤー9、22の突いた、たわみ管12、25を装入し、調整ナット11、24、止めナット10、23で固定し、ブレーキワイヤー9、22の先端に止め穴のある止め部8、21を固定しU形ボルト7、強め板19、ナット18、20で固定し、ブレーキワイヤー4を左ハンドブレーキレバー26へ接続し、他方のブレーキワイヤー16を右ハンドブレーキレバー27へ接続する。又下部のブレーキワイヤー9を前輪(後輪でもよい)ブレーキへ接続し、他方のブレーキワイヤー22を後輪(前輪でもよい)ブレーキへ接続し、四面のように構成する。本発明の実施はワンハンドブレーキのブレーキ

ワイヤー4、16を装着した左右のハンドブレーキレバー26、27を自転車、オートバイ、子供用三輪車のハンドルの適当な箇所へ従来の方法で取り付け固定し、アジャスター5を適当な箇所へバンド29で止め、ブレーキワイヤー22を前輪ブレーキへ、ブレーキワイヤー9を後輪ブレーキへ従来の方法で止める。

従来の自転車、オートバイ、子供用三輪車のハンドルに付けた左右のハンドブレーキレバーは前輪ブレーキ、後輪ブレーキに別れている為、走行に於いて急停止、停止、徐行を行なうのに左右のハンドブレーキレバーの操作が微妙な操作が必要であった。本発明のワンハンドブレーキは左右いずれか一方のハンドブレーキレバーの操作によって前輪、後輪にブレーキをかけることができ、又微妙なブレーキレバーの操作も必要なく、安全性の高いワンハンドブレーキである。

4 図面の簡単な説明

第1図面は本発明のアジャスター部の説明図、

特開昭54-113143(2)

第2図面は止めねじの説明図、第3図面は本発明の17訂正実施説明図。

1…たわみ管、2…調整ナット、3…止めナット、4…ブレーキワイヤー、5…アジャスター、6…止めねじ、7…U形ボルト、8…止めねじ、9…2字訂正ブレーキワイヤー、10…調整ナット、11…止めナット、12…たわみ管、13…たわみ管、14…調整ナット、15…止めナット、16…ブレーキワイヤー、17…止めねじ、18…止めナット、19…強め板、20…止めナット、21…止めねじ、22…ブレーキワイヤー、23…止めナット、24…調整ナット、25…たわみ管、26…ハンドブレーキレバー、27…ハンドブレーキレバー、28…カバー止めビス、29…カバー、30…止めのバンド、31…止め穴。

特許出願人 岸 他人蔵

